

こんなふうに
生きてみよう...

お互いのあいだに 橋が築かれた

ホアンパブロ・アルゼンチン

お父さんは何年か前に家を出て行きました。お母さんとお姉さんはもうお父さんと関わらないようにしました。

こんな状況はぼくにとってとてもつらく、仲間の「一致を目指す少年少女たち」は、ぼくの支えになりました。

少しずつお父さんに会ってみようという気持ちが出てきました。仲間たちと話しているうちに、それを実現するための力と方法を見つけました。

6年もコンタクトがなかったので、相手と自分がどんな反応をするか想像もできませんでした。

お父さんに会うために、900キロの旅をしました。いざお父さんに会ってみると、何を話したらいいかわかりませんでした。でも心にうらみはなく、ただ愛したいと思いました。

いまでは、お互いのあいだに再び橋を築くことができました。心には新たな自由を感じます。



あらゆる

困難を

乗り越えようと

決心します

いのちの言葉 | 07

勇気を出さない。わたしは既に世に勝っている。

(ヨハネ16・33)

イエスが最後の晩さんで弟子たちに向けた別れの言葉です。でもそうおっしゃったあと間もなく、イエスは捕らえられ、むち打たれ、ばっせられ、はずかしめを受けざんこくに殺されました。では、なぜイエスは、「わたしは既に世に勝っている」などとおっしゃれたのでしょうか。

イエスの勝利は、言うまでもなくイエスの復活の内にあります。その前にも、**私たちのために自分の命を与えて下さるという大きな愛のうちに、勝利があります。**

ですから恐れることはありませんとおっしゃったイエスの招きも理解できます。**勇気を出さない。わたしは既に世に勝っている。**

いかに困難で、乗り越えがたいものであっても、その困難は、すでにイエスご自身が、ご自分のものとして背負い、乗り越えてくださったものだからです。

「もし、**あなたがこの世に勝っておられるなら、今、私が立ち向かおうとしている困難は、乗り越え難いもの**に感じられますが、**あなたが私たちの間にいてくださるなら、立ち向かう勇気と力が与えられるでしょう。**」

天に希望を置き、復活を信じるこそ、試練の中にいる人を支え、あらゆる逆境に立ち向かっていく力となります。また、**最後に残るのは、憎しみに打ち勝つ愛、死を滅ぼすいのちのなだ**という確信につながります。

{ 少し立ち止まって、
自分が感じている困難を
見つめてみます。 }

どんな困難を前にしても、私たちの内に、そして私たちの間におられるイエスへの信頼を新たにしましょう。たとえ、それが個人的な苦難、身近な人に起こる苦しみや世界のニュースを通して知らされる災難であっても、イエスは「既に世に勝って」おられます。そのイエスが、私たちをご自分と同じ勝利にあずからせ、私たちのために場所が準備されている天国への道を開いてくださるのです

私たちはあらゆる試練に向き合う勇気を得て、イエスのうちに**全ての困難を乗り越えることができる**でしょう。

{ どんなふうに困難を乗り越えようとしたか分かち合ってみます。 }